

2025 年度 日本老年看護学会 生涯学習支援研修
看護管理研修報告書

2025 年 12 月

1. 開催日時：2025 年 10 月 4 日（日）13:30～16:30
2. 開催場所：CIVI 研修センター新大阪東 6 階 E604
3. 参加人数：31 名（会員：16 名 非会員 15 名）
4. テーマ：高齢者看護質向上のための看護管理者研修
5. プログラム

●話題提供

「高齢者看護質向上のための看護管理実践」

- ・急性期病院の取り組み 松江赤十字病院 内部孝子
- ・療養病床の取り組み 青梅慶友病院 桑田美代子

●座談会

●グループワーク

「自施設の高齢者ケア・認知症ケアの困りごとへの看護管理を考える」

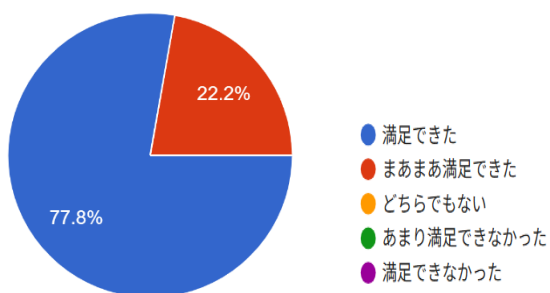
6. アンケート結果（回収数 18 名 回答率 58.1%）

《回答者概要》

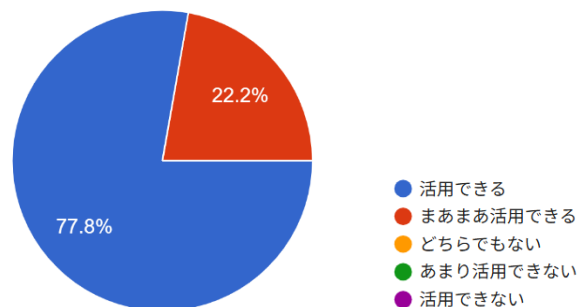
年齢	看護経験年数	所属	職位（複数回答可）	職位経験年数
30 代 1 名	10～20 年 4 名	急性期病院 12 名	副院長・看護部長等 2 名	1～3 年 8 名
40 代 7 名	21～30 年 9 名	回復期 RH 病院 1 名	看護副部長等 2 名	4～9 年 6 名
50 代 9 名	31 年～ 5 名	医療療養病床 3 名	看護師長等 2 名	10 年～ 4 名
60 代 1 名		精神科病院 1 名	主任・副師長等 12 名	
		ケアミックス 1 名		

《研修内容について》

〔満足度〕



〔活用度〕



〔意見・感想〕

- ・現場の悩みを相談、対策を検討できて良かったです。
- ・自分の立場における職務を再確認できた。また、管理者の視点での考え方やキーワードを学ぶことができた。
- ・同じ悩みを持つ人との共有ができました明日からのケアを頑張ろうという活力になりました。
- ・他施設のリアルな実態や役割の異なる方々の話が聞け、今できること、先を見越して整えることなど考える機会となった
- ・主任と認定という立場で話せる機会が少ないので同じような視点でグループワークをする機会をもててよ

かったです。

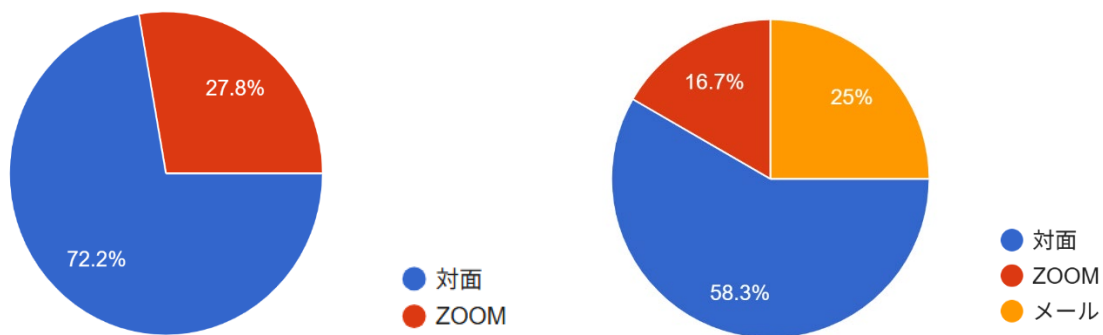
- ・皆さまの意見が聞けて良かった
- ・看護管理実践の取り組みを聞くことができ、今後の自己の取り組みについて考え、職場で活かすことができる、活かしたいと思う研修内容でした。
- ・現場で起きている問題や課題に対しての講義で非常に興味があり、そして今私達の取り組んでいかなければならないことを考えていく事が出来ました。ありがとうございました。
- ・どの施設の管理者も高齢者ケアに苦慮していると感じました。けれども今後ますます高齢者が増加するので、今後は高齢者認知症ケアがスタンダードになるような教育システムを考えること、スタッフ一人一人のケア実践を認識して、患者さんに良いケアが提供できたことはしっかり承認することを意識して質の向上に寄与したいです。
- ・まさに今あるある内容で、今後活動していくなかで活用できる内容でした。
- ・学びが多く、明日から頑張る気持ちが湧いた
- ・先生方の講演がとても学びになりました。
- ・貴重な機会をありがとうございました。認定さんの多い会で、管理者よりもやはりスペシャリストのほうの外に出て俯瞰しようとする感覚があるのだから、逆に管理者は内にこもって我が常識にとらわれて物事を動かすのは難しいのかなあ、と感じました。
- ・今回の研修は、講義を聞くだけではなくグループワークがあり他の病院の管理者の意見も聞けてとても学びになりました。DCNになり活動計画を進めていたところ病棟の副主任になる様にとわれ「何故、認定を取った今そんな事を言うのか」という不満が少なからずあり、副主任としての仕事に追われる毎日で近々、副主任を降りたいと話に行こうと思ながらこの研修を受けにきました。今日の研修のグループワーク発表の後に講師が「DCNが管理になる意味はケアの質を管理していく、ケアの質の向上」というお話があり、それなら頑張ってみようと思える様になりました。充実した研修に参加させていただき、感謝申し上げます。
- ・高齢者との関わり方も大変考えさせられましたが主任としての立場からスタッフや師長との関わり方も勉強になりました。ありがとうございました。
- ・とても理解でき、自分自身の力になった
- ・実際に管理者として実践している方からお話しが参考になりました

〔今後、希望する研修〕

- ・管理職の視点からは、今回のようなものが良いと思いました。テーマがあれば、より皆が満足のいく研修会になるのではないかと思います。
- ・1 スタッフの視点からは、高齢者体験などあれば参加したいと思います（2）
- ・職場の意識の変え方、集団の動かし方、集団心理など学びたいです。
- ・倫理研修（2）
- ・地域と施設がシームレスにつながり、高齢者の生きる、を支える取り組み等
- ・ACPや抑制解除にむけての取り組みなど
- ・アセスメント
- ・倫理的感受性を高めることができる具体的な教育内容と共有方法
- ・業務改善、病院全体で人員不足をどう乗り切るか、人材育成
- ・いろんな施設の身体拘束をしないための工夫を知りたいです
- ・忙しい時間でのカンファレンスの進め方
- ・看護の基礎に立ち戻って、自分の行動は何を意図するものかを言語化できるトレーニング、認定さんはそれを促進するファシリテート力をトレーニングするような機会がほしいし

- ・今日のお話の様な「死を見据えたケア」にフォーカスして施設や療養病棟でのケアのあり方を深くお聞きしたいのと又、グループワークができると勉強になります。
- ・高齢者との災害時の関わり方とかも研修したいです。
- ・広く管理者の研修や、スタッフとの混合の研修
- ・思考する力を育てる事が難しいと感じているため、思考する力の育成に繋がる研修があると参加したい。

〔希望する開催方法〕



〔研修を知ったきっかけ〕

